

SDGs達成に貢献する地域活動の 評価・発信ツールの作成及び普及

はじめる助成

1年目

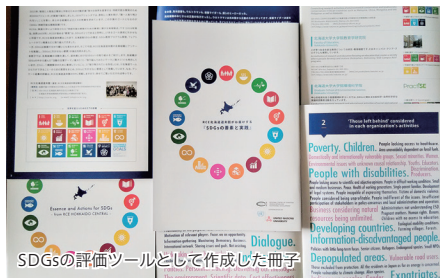
知識の提供・普及啓発

ヒアリング、イベントの
延べ参加者 **336人**

SDGs評価ツール作成の
ための取材 **56団体**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **50%**



活動内容と成果

- SDGsに関わる取組みについて意見交換会を開催するなど、国内外の関係者からSDGsに欠かせない視点の抽出を試みた。その結果、①課題を解決しようとする視点、②「取り残された存在」を意識する視点、③誰もが取り組める活動を提案する視点が特に重要であることがわかった
- 会員組織48団体にアンケートを行い、冊子「SDGsの要素と実践」を作成した(1,500部、日英併記)
- SDGsに関わる連携を強化するため、協働の可能性について各種団体と意見交換を行った



課題

国連「持続可能な開発のための2030アジェンダ」及びその目標「SDGs」への貢献に関わる協働及びその活動を評価する方法が確立されていない。

目標

SDGs貢献に対する評価手法の確立を目指す。開発した評価ツールは国連大学認定のグローバルRCEネットワークを活用し、国内外に発信する。



今後の
展望

作成した冊子を広く提供するための機会を設けるとともに、その機会を活用した意見交換や交流の場づくり、ニーズの掘り起こしなどを通して、持続可能な開発のためのプラットフォームとしての役割を果たしていきたい。

苦勞した点と工夫した点

苦勞した点

ヒアリング対象や関係者が多く、当初計画した通りのスケジュールで活動を進めることに苦勞した。

工夫した点

なるべく多様な分野やセクターの方から意見を聞くために、場を設定するだけでなく、相手が実施する事業にも足を運んだ点。

| 活動地域 | 

北海道、オーストラリア、フィリピン

〒060-0810

北海道札幌市北区北10条西5丁目

北海道大学地球環境科学

研究院山中康裕研究室「気付」

E-mail : info@rce-hc.org

http://rce-hc.org/

